



2022.1.15 (土)

とと道トレイルウォーク

美星・三山→成羽 フォト報告

850 : 三山八幡の2つの牛供養碑



庄屋跡から畑の端を東へ進む

星空保護区認定の決め手の特殊街灯



900:いざ出発



三山金定の高原地帯を登る



金定古墳 6世紀後半



美星中心部の空が近い高原景観



920:コロナならぬ痰咳（タンガイ）様の祠。今時人気絶頂

バスの窓から正面遠くに純白の大山発見



945 あづきもち入り口道標見学

黒萩と宇土谷の境の林道



1000 あづきもち出口 神田峠



黒萩神社の神田



県道笠岡美星線の看板が見える



1010:黒萩公会堂でトイレ休憩



洗場口大師堂



洗場の牛供養碑とと道跡



葡萄畑の広がる登り道



洗場最高点でバスと合流 北側に広大な貝原邸望見



1035 中杉へと向う道路脇に小さな道標



影安のお堂



1105保木上橋



正面崖の上の古墳



常夜灯



1120:西林国橋墓碑と西の熊谷



母親の実家の藤井家遠望 国橋はここに養子入りする



解説板喪失



1140:神楽公園で矢掛町江本の弁当屋「凧」の弁当昼食



1210:昼食後御前神社参拝



1230:蔵元荒神社 ムクロジの巨木があり
地面にはその実（羽子板の玉）が沢山落ちていた。

旧道は写真奥で川をとびそ伝
いに向こう岸に渡っていた。

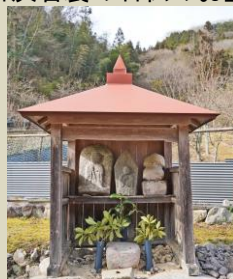
と道はかつての庄屋館の廃屋
の横を通って北へ向う。



村の中の細い道が続く

石灰岩製の石仏のお堂

谷沿いのひなびた村中を進む



冬枯れの里道

石灰岩？の白い石仏

荒れ果てた社



1310:成羽市街に入り町並散策
南北に走る小路ごとにある常夜灯

大神宮の玉垣



播？、岡山、筑前、大坂

東の大曲



西の大曲 この先を右に曲がると神楽ロードが始る



大国主命

猿田彦命



両神

思兼命



稲背脛命



事代主命



武御名方命

素戔鳴尊



手名槌命、足名槌命



音楽

松尾明神



奇稲田姫命



松尾明神



1355:八頭大蛇



ようやく再開できたと道トライアルウォーク。今年度の3回目は美星・三山から成羽14.5KM。

3つのセクション中で最も文化的で、かつあまり登り下りの無いラクチンコース。

前々日の雪で路面の凍結を心配したものの当日は風も無くおだやかでゆったりと沿道の文化を堪能できました。

最後の成羽ではギリシャの勝利の女神ニケ像が大空間にたたずんでいてビックリ。2020年12月19日のウォークの折には回りを役場関係の建物が囲んでいたのがすっかり取壊されて、サモトラケのニケ像だけが広場の中心にすっきりと立っていたのです。

児島虎次郎さんに改めて感謝して散会しました。本日参加者49名でした。



2022.1.15



2020.12.19



サモトラケのニケ

1863年、エーゲ海東北のサモトラケ島でフランス領事、シャルル・シャンボワーズが、まずバロス島の大理石で作られた女性像トルソを発見した。続いて周辺からは同じ大理石で作られた118点の断片となった翼の部分が見つかった。これを復元したところ有翼の勝利の女神「ニケの像」であることが分かった。出土品は、フランスに送られ1884年、ルーブル美術館の「ダリュの階段踊り場」に据え置かれた。翼を広げた巨大な女性大理石像「サモトラケのニケ」はルーブルを訪れる人々の目を強く引き付けている。「ミロのビーナス」と共にルーブル至宝の双璧である。

ウクライナの地にこんな女神が舞い降りてほしいと思う次第です（4.23）。